

河川整備計画[県管理区間]の内容と効果 及び事業進捗の状況について

令和8年2月19日



熊本県

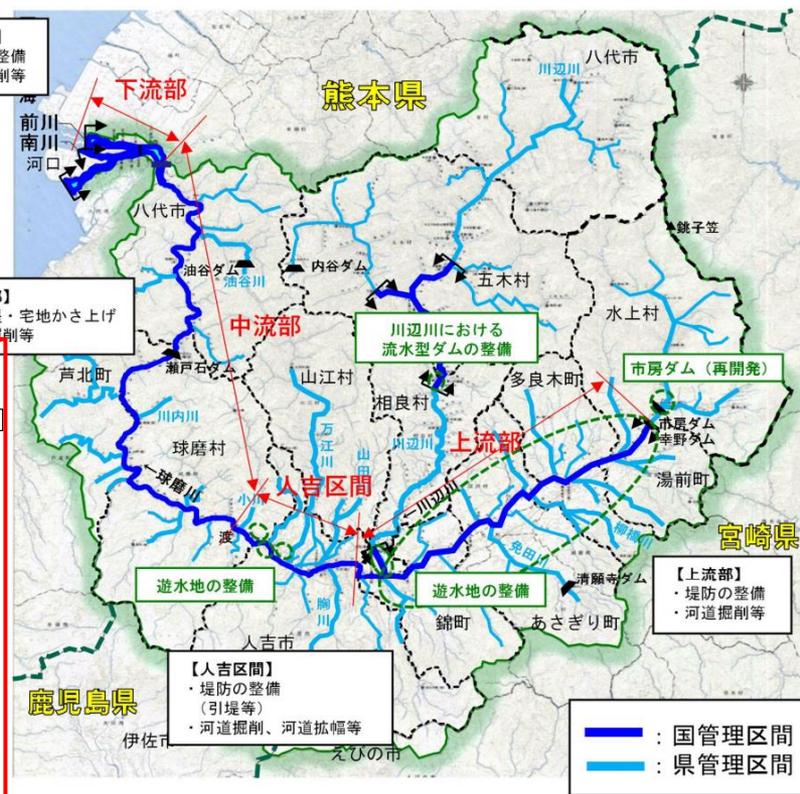
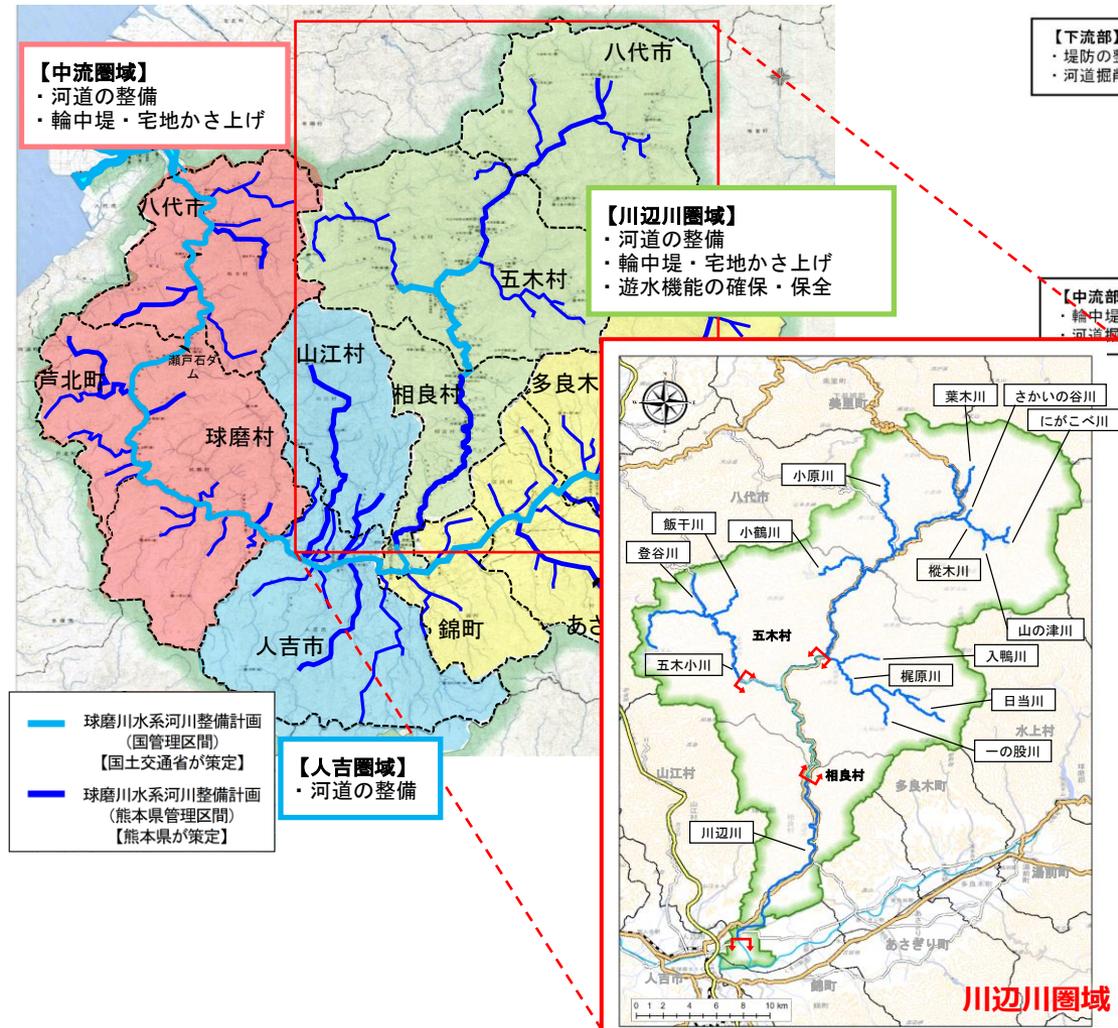
河川整備計画[県管理区間]における計画対象区間と期間

計画対象区間

■ 球磨川水系河川整備計画 [県管理区間] の計画対象区間は図のとおり。(80河川、流路延長432.9km)

県管理区間における主な治水事業位置図

【参考】国管理区間における主な治水事業位置図



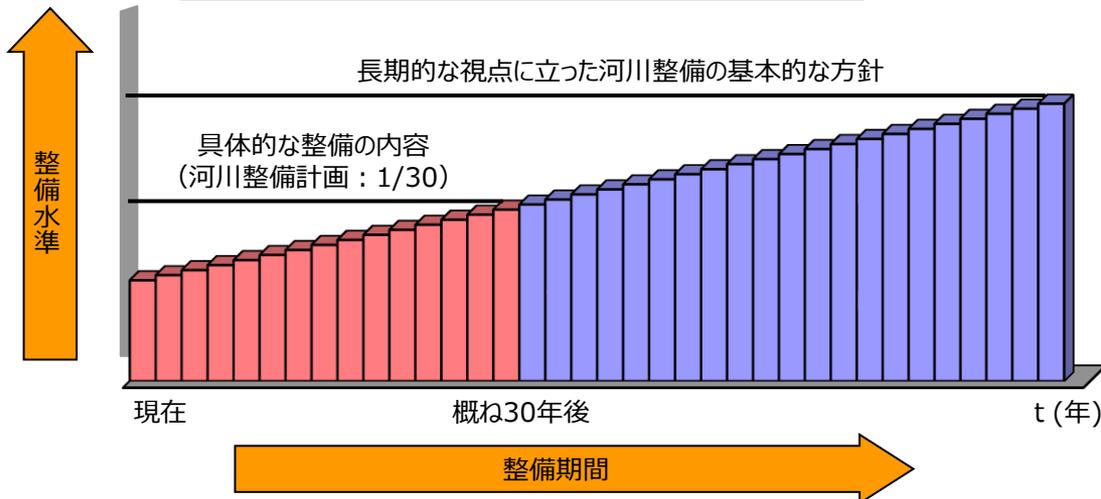
治水対策の目標

- 令和2年7月豪雨をはじめとする過去の水害の発生状況、気候変動の影響による降雨量の増大、流域の重要度、河川整備の状況等を総合的に勘案し、球磨川水系河川整備基本方針に定められた整備目標に向けて、上下流及び本支川の治水安全度のバランスを確保しつつ段階的かつ着実な河川整備を実施するとともに、**令和2年7月豪雨と同規模の洪水を含む想定し得る最大規模までのあらゆる洪水を想定して、あらゆる関係者が連携し流域全体で実施する治水対策「流域治水」による球磨川流域の強靱化を推進することで洪水氾濫等による災害の防止又は軽減を図ることを目指します。**
- 気候変動による降雨量の増加を考慮（1.1倍）して算出した年超過確率が**概ね1/30規模の目標流量**を安全に流下させることとします。

整備計画完了により期待できる効果

この計画に基づく整備を完了することにより、**気候変動を考慮した戦後最大の洪水（令和2年7月豪雨を含む）と同規模の洪水に対し、家屋の浸水防止など、流域における浸水被害を軽減できます。**

球磨川水系河川整備計画【県管理区間】における段階的な整備目標のイメージ図



【参考】球磨川水系における整備目標

	人吉地点	横石地点
河川整備基本方針	1/80	1/100
河川整備計画【国】	1/50	1/80

令和2年7月豪雨と同規模の洪水に対して、

- ・本川では、人吉市等の有堤区間にける越水を回避
- ・支川では、家屋の浸水を防止

など、**浸水被害を軽減する。**

川辺川(整備概要)(1)

- 川辺川の宮園地区では、最終的な治水目標を見据えた抜本的な河川改修（河道掘削や築堤・引堤）を実施。
- 令和8年度工事着手に向け、令和7年度は堤防整備のための用地測量に着手。

位置図



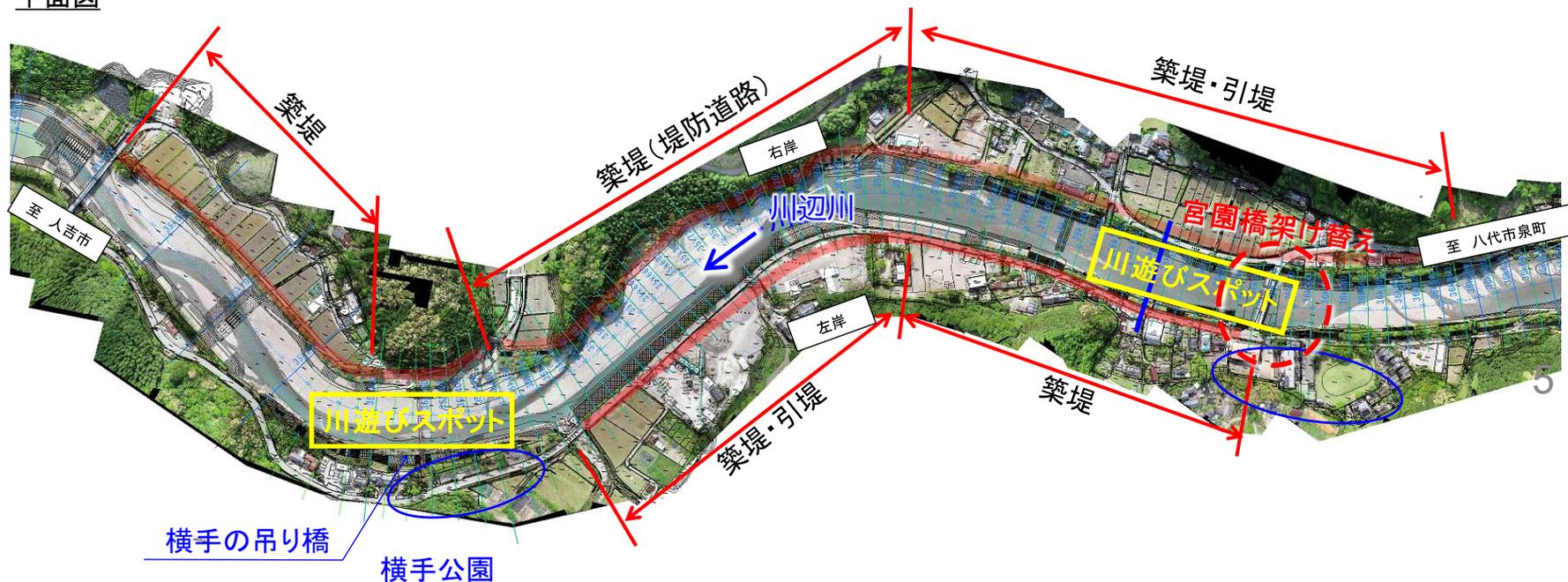
整備イメージ(宮園橋下流)



宮園地区地元説明会(R7.4)



平面図



- 河道断面を確保するための引堤にあたっては、河川環境への影響をできる限り回避・低減し、瀬や淵、ワンド、河畔林等の河川環境の保全を検討。

河川整備と環境保全のイメージ



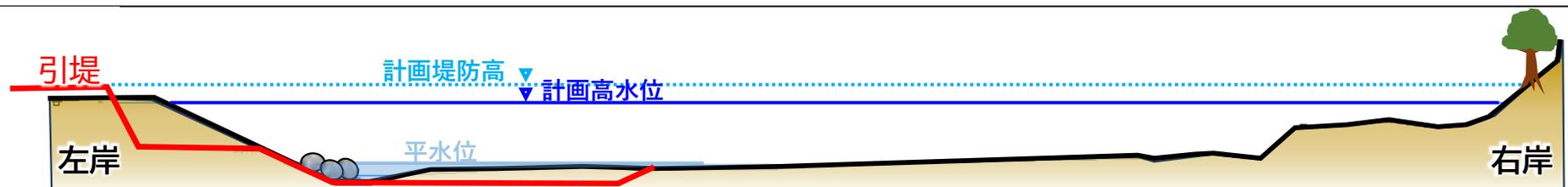
淵の現況



ワンドの状況



河川整備の横断イメージ



- 現存する礫や河川形状を可能な限り保全するとともに、護岸前面に置き石等を設置することで、河床の変化や、瀬や淵、多様な生物の生息・生育・繁殖環境の創出を検討。今年度、横手公園の下流左岸で水制工の試験施工を実施中。
- 人と河川との豊かなふれあいによる親水性に配慮し、五木村や宮園周辺地域振興協議会等と連携しながら、河川空間とまち空間が融合した良好な空間の創出にも取り組む。

宮園集落周辺の現況



川遊びの状況(R6.8)



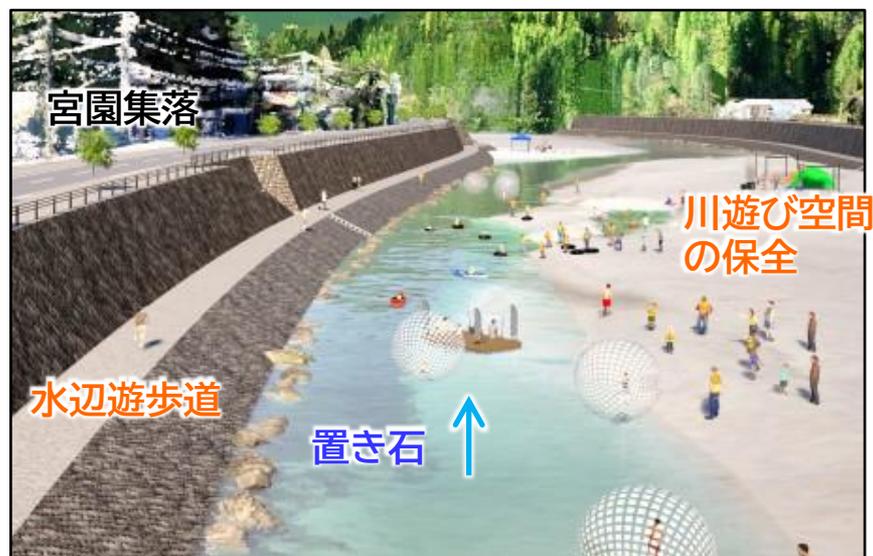
横手公園周辺の現況



宮園周辺地域振興協議会(R6.8)



宮園集落周辺の計画イメージ



横手公園周辺の計画イメージ



梶原川(整備概要)

■ 梶原川の竹の川地区では、宅地かさ上げ及び河川改修を実施。令和7年度は、宅地かさ上げのための補償交渉に取り組むとともに、河川改修ではパラペット工事が完了予定。

位置図



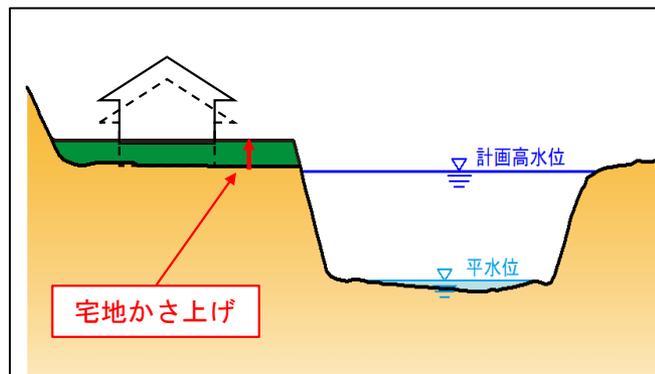
平面図



竹の川地区現況写真



宅地かさ上げのイメージ

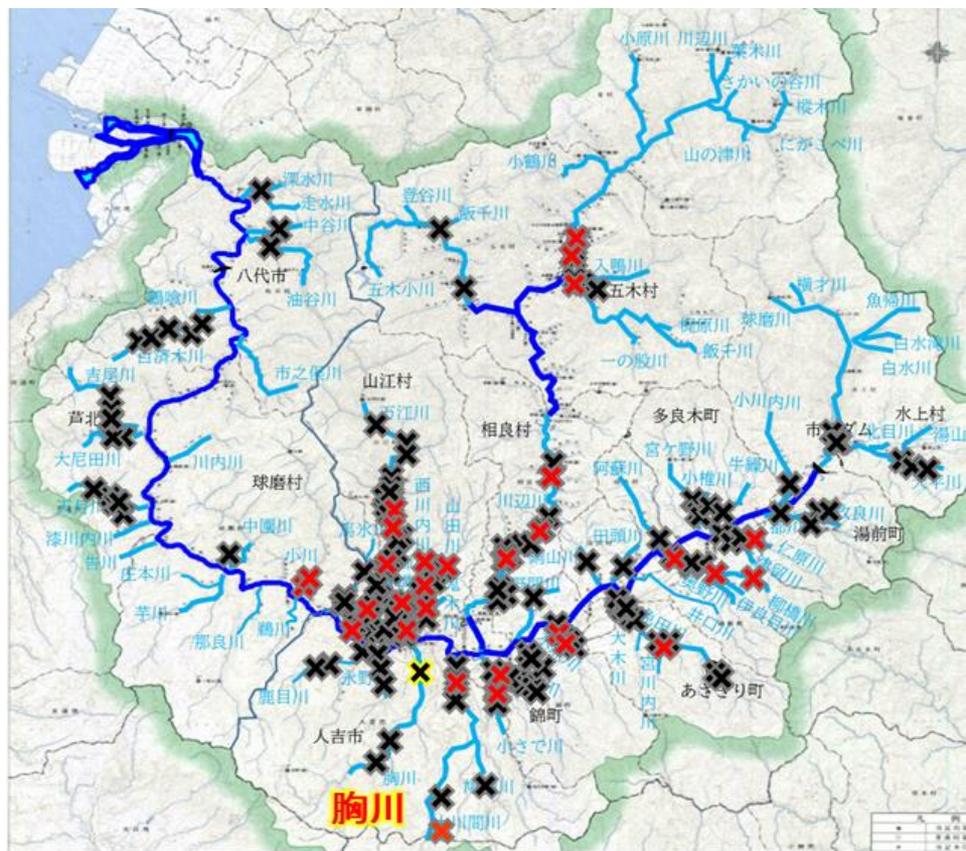


竹の川地区地元説明会 (R7.4)



堆積土砂の掘削状況[県管理区間]

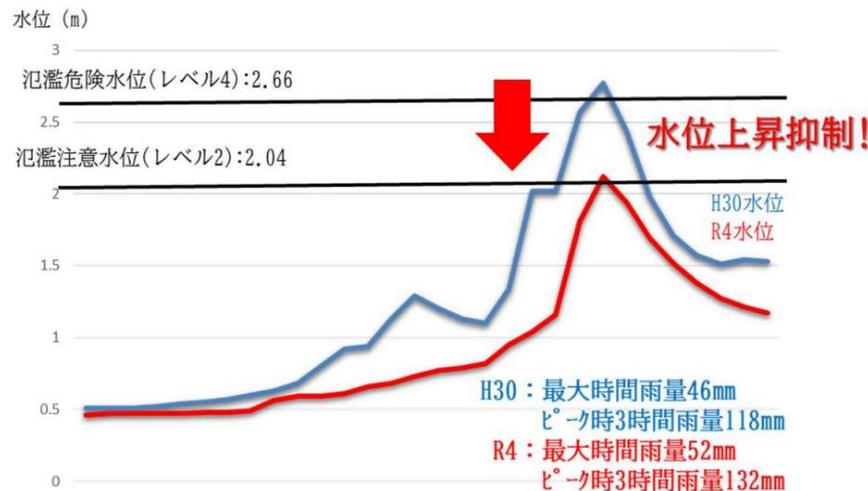
- 県管理河川においては、毎年、出水等により堆積した土砂を次期出水までに撤去できるよう掘削を行っており、令和2年7月の出水から令和7年5月末までに、累計で約154万m³の土砂を撤去。
- 人吉市の胸川では、**河道掘削実施前後において同規模の降雨における河川水位を比較したところ**、実施前では氾濫危険水位（レベル4）を超過したが、実施後では氾濫注意水位（レベル2）までにとどまり、**水位上昇を約60cm抑え、地域の安全を確保。**
- 引き続き、地元のご要望を伺いながら、河川の流下能力の維持を図る。



✕ : 令和2年7月～令和6年5月末までの掘削箇所図
 ✖ : 令和6年6月～令和7年5月末までの掘削箇所図

球磨川水系**胸川**（人吉市）の事例

＜同規模の降雨における水位上昇を比較＞

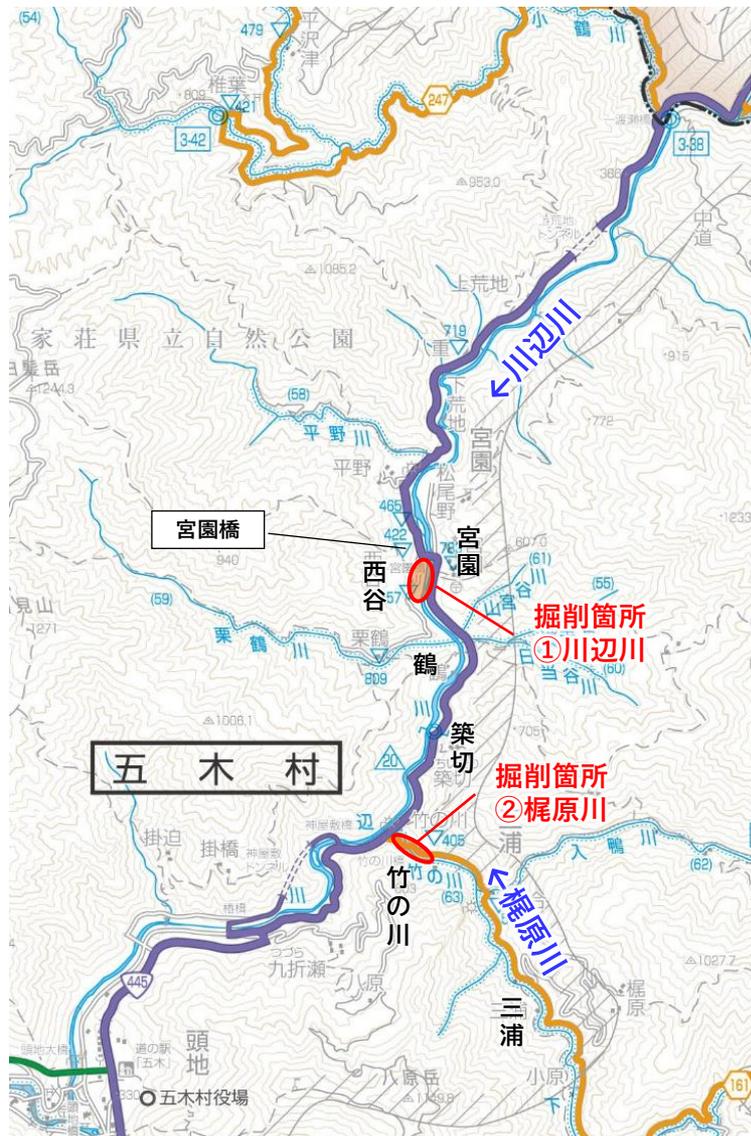


※総務省 緊急浚渫推進事業債 活用事例 (R5.1) より抜粋



堆積土砂の掘削状況(川辺川等)

- 村内において、令和2年7月の出水から令和7年5月末までに、累計で約190,000 m³の土砂を撤去。
- 令和6年6月から令和7年5月末では、川辺川において約30,000 m³の河道掘削を実施。



①川辺川 (五木村宮園)

<掘削前 R7.1>



<掘削後 R7.4>



②梶原川 (五木村竹の川)

<掘削前 R6.4>



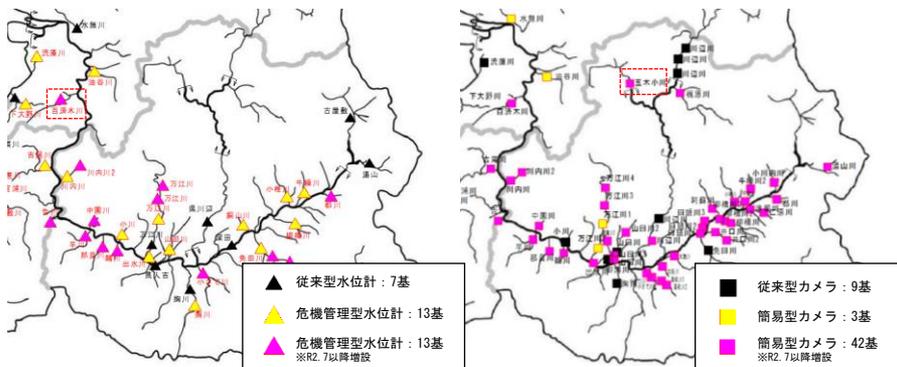
<掘削後 R6.6>



住民の円滑な避難に向けた支援

- 住民の円滑な避難の支援に向けて、洪水時の情報を関係機関に提供するため、令和2年7月豪雨以降、水位計13基、河川監視カメラ42基を増設（令和8年2月時点）。
- 洪水浸水想定区域図の作成公表を行い、分かりやすく閲覧できるよう、「防災情報くまもと」の改修を実施。

河川監視カメラ映像及び水位情報の発信



水位計 位置図（県管理）

河川監視カメラ 位置図（県管理）

- 球磨川流域においては、水位計33基、河川監視カメラ45基を設置済み。令和2年7月豪雨以降に、**水位計13基、河川監視カメラ42基（村内：2基）を増設**。

- 「川の防災情報」や「川の水位情報」で河川の状況に関する情報を発信。

<河川監視カメラ映像>



洪水浸水想定区域図の作成・公表

- 想定最大規模（概ね1/1000以上の確率）の降雨による洪水浸水想定区域について、周辺に住宅等の防護対象のある河川を対象とし、令和3年10月までに全ての河川を指定。
- 市町村では、県で作成した洪水浸水想定区域図に、洪水予報等の伝達方法や避難場所等の、洪水時における円滑かつ迅速な避難の確保を図るために必要な事項等を記載し、洪水ハザードマップが作成されている。
- 県ホームページ「防災情報くまもと」で、洪水浸水想定区域図をより分かりやすく閲覧できるよう、区域範囲や浸水深等をポップアップ表示する改修を実施。



治水対策において、施設整備（河川改修等）のみの取組には限界があるため、ハード対策とあわせてソフト対策の充実を図り、総合的な防災・減災対策を推進します。

統合型防災システム



統合型防災システム

観測時刻: 2025年03月04日 15時00分

地域: 全県

凡例

- 50mm以上
- 30~49mm
- 10~29mm
- 1~9mm
- 0mm
- 欠測

気象警報・注意報発表状況

- 警報
- 注意報

防災情報くまもと



防災情報くまもと

防災情報くまもと

ハザードマップ

浸水想定区域

浸水想定区域の洪水情報表示時、ハザードマップの浸水想定区域をクリックすると、浸水する深さが確認できます。

浸水想定区域

浸水

津波

高潮

観測局

白川: 子飼橋、代地橋、吉原橋、陣内、立野、妙光橋、中松

坪井川: 坪井、坪井川下流、天高橋、鶴羽田橋、山宮橋、高平橋

洪水、津波、高潮により想定される浸水区域と浸水深を確認できます。

河川監視カメラ映像

御船川(御船町)



量水標(堀川)

平常時



豪雨時

豪雨時も川の状況を確認できます!

降雨や河川水位、河川監視カメラ映像等の防災情報をホームページに掲載しています。



観測時刻: 2024年12月20日 13時50分

河川名: 坪井川[ノボイカワ]

所在地: 熊本県西區二本木内石塚郷土地改良区(河川)

10分間隔グラフ

水位現況表	
現在の水位	0.52 m
10分前との水位差	0.00 m
30分前との水位差	0.00 m
1時間前との水位差	0.00 m
測器判断水位	5.38m (警戒レベル3相当)
氾濫危険水位	5.38m (警戒レベル4相当)
木筋印付橋水位	1.47m (警戒レベル1相当)
氾濫注意水位	3.35m (警戒レベル2相当)